

平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成 29 年 5 月 8 日

代表者 川瀬 基寛

研 究 課 題 名	ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育のデザイン ～アクティブ・ラーニングを意識したデジタル教材開発～
研 究 期 間	平 成 2 8 年 6 月 1 日 ～ 平 成 2 9 年 3 月 3 1 日
共 同 研 究 者	なし

1. 今年度の研究概要

本研究の目的:ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育を実現する学習者用デジタル教材を開発し、その有用性を実証することである。とくに「ソーシャルメディアのあり方を考えるための学習内容」としての教材開発と、「アクティビティを提供する効果」をタブレット端末で実現する授業デザインについて検討および実験・検証をしていく。ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー育む教育は学術的に検討したものは少なく、この分野の発展に寄与できると考えている。

研究予定:

平成28年

- ・4月～5月:教室環境および実験・実践準備、既存のデジタル教材コンテンツの改修
- ・6月～:実証実践
- ・7月～:結果の分析、デジタル教材コンテンツの改修
- ・10月:実証実践の結果を報告(学会)

・～12月:「ソーシャルメディアのあり方を考えるための学習内容」について、授業デザインの検討

平成29年

- ・～3月:「アクティビティを提供する効果」としての授業デザインの検討

同時に科研費(基盤研究 B)の共同研究者として「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育を実現するカリキュラム開発」の最終年度であり、SNS 時代のメディア・リテラシー教育コンテンツ開発と同時進行で行った。

これは、近年のソーシャルメディアの普及はめざましく、既存メディアとの連動もあり構造が大きく変化しはじめている現状がある。コミュニケーションのあり方やライフスタイルに変化が表れ、価値観を規定するほど影響は大きくなってきたこともあり、今までの研究と連動させ発展させていくことも必要となってきた。メディア環境の変化に伴い、初等教育の現場でタブレット端末が頻繁利用されるようになっているが、「ソーシャルメディアのあり方を考えるための学習内容」を意識した授業デザインは稀である。またアクティブ・ラーニング導入も推進され、より能動的な授業を設計する必要もある。そのためにも「アクティビティを提供する効果」をタブレット端末で実現する授業デザインとして検討していくことは重要であり、ソーシャルメディア時代における新たなメディア・リテラシー教育のあり方を考える材料を提供できる点において意義があると考えた。

2. 研究の成果

普通教室にタブレット端末を持ち込む前提としたソーシャルメディアを学習する授業デザインはほとんど見受けられないため効果的と考えていたが、実証実験の場である小学校で担当者の変更があり、実験環境が維持できなくなった。そのため、授業デザインの前提であるタブレット端末を利用した学習コンテンツによる実験が不可能であった。(最終的には平成 29 年度以降に実施予定となった)そこで、アクティブ・ラーニングを意識したデジタル教材として、「SNS 時代のメディアリテラシー教育コンテンツ」のアップデートと平成 29 年度以降に実施する実証実験のためのシステム構築に移行した。

「ソーシャルメディアのあり方を考えるための学習内容」については知識と理解だけではなく、思考・判断・表現に関わる学びの姿勢に関わる項目の整理が期待できるため、学習項目の精査と小学校低学年でも簡単に利用できるデジタル教として再開発することで、実践経験の少ない教師にもメディア教育を円滑に実践できるようにした。

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

- ・日本教育メディア学会年次大会による学会発表(平成 28 年 10 月、奈良教育大学)
- ・平成 29 年 3 月刊行の書籍『メディア・リテラシー教育:ソーシャルメディア時代の実践と学び』(共著/北樹出版)の執筆担当箇所にて加筆。

平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	平成 28 年度 プロジェクト研究費
研究課題名	ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育のデザイン～アクティブ・ラーニングを意識したデジタル教材開発～
研究代表者	メディアコミュニケーション学科 川瀬基寛
研究期間	平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	

1.研究成果取組状況

(1)国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済	川瀬基寛, 「タブレット端末を利用したクイズ式デジタル教材の開発 Development of the quiz-type digital teaching materials using a tablet terminal」, 日本教育メディア学会 年次大会論文集, 平成 28 年 10 月, 奈良教育大学	
発表予定		

(2)雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済		
投稿中 投稿予定		

(3)図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	中橋雄編著(共著)『メディア・リテラシー教育: ソーシャルメディア時代の実践と学び』, 平成 29 年 3 月, 北樹出版(執筆担当箇所: 第 7 章にて加筆)
出版予定	

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名
平成 28 年度 (最終年度)	JSPS 科研費 (基盤研究 B), 課題番号 25282062, 「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育を実現するカリキュラム開発」(代表: 中橋雄)